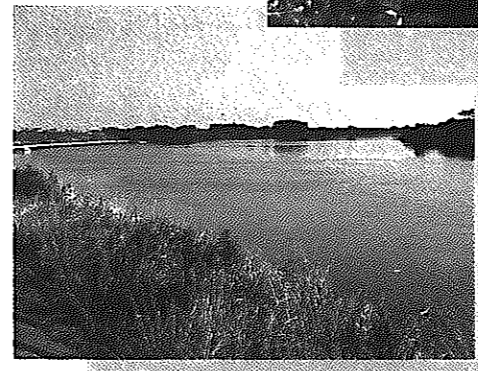
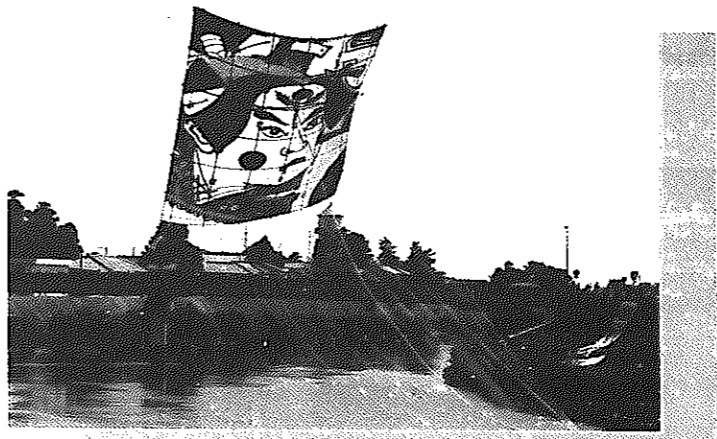


# 川と風と実りのまち

# 広い空のまづくり



白根市では、市の特色を生かした生活環境の整備や市民参加型のまちづくりを行おうと、平成7年度に「白根市地域住宅計画」(=白根市HOPE計画)を作成。翌8年度から事業を推進してきました。3年間の推進事業は平成10年度で終了となり、このほど報告書がまとまりました。

## HOPE計画とは

HOPE計画は自然や伝統文化、産業などの地域特性を生かし、地域に根ざしたまちづくりを進めることを目的としています。Housing with Proper Environment (地域住宅計画)の略である「HOPE」には、希望の意味も含まれています。住宅に関するだけでなく、地域景観・生活環境の向上やまちづくり運動など広い視野でまちづくりを考えていくものです。

### 白根らしさを

### まちづくりの仕方を

白根市HOPE計画推進事業を進めていくにあたっては、母体となる白根市HOPE計画推進委員会を設け、部会別にモデルプロジェクトや広報活動を中心に着実に計画を推進してきました。特にモデルプロジェクトには地元住民の参加も進み、具体的な成果も生まれています。HOPE計画の推進活動を具体的に進めるために設立された部会は、①三川合流地点周辺地区のプロジェクトを担当する「水辺プロジェクト部会」②新飯田地区周辺のプロジェクトを担当する「新飯田プロジェクト部会」③市民への広報活動や全部会を調整する「企画広報部会」の3つで構成されました。そして、市民参加のまちづくりを目指してさまざまな計画が立案され、次のような取り組みが行われてきました。

### 水辺プロジェクト

このプロジェクトは川に囲まれた白根市の特色を生かし、日々の暮らしの中で水辺の潤いや楽しさを感じられるようなまちづくりを目指そうというものです。自然に親しみ、自然を観察するこ

### カヌー体験会



の暮らしが調和した「水辺公園づくり」を計画。白根市北部の三川合流地点を候補地を選び、自然の生物が観察できる「トンボ池」を造りました。三川合流地点はさまざまな動植物に親しめる環境にあります。トンボ池のはかにカワセミ池や自然の観察小屋などの設置を計画しています。また、昨年七月には水辺ウォッチングとカヌー体験会を信濃川で開催し、カヌーの体験を通して水辺に親しみ自然を理解する機会を設けました。八月には白根市カルチャーセンターで「くらしと水辺のシンポジウム」を開催。「水辺を生かした田園都市」をテーマに語り合いました。そして、水辺環境整備の進め方について分かりやすくまとめたパンフレットを作成しました。自然を楽しむ、自然を守っていく

## 各部会の構成と役割

